

製品名: CHD3 (5M11) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08745**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	227kDa

抗原情報

遺伝子名	CHD3
別名	Chd3; Chd7; hZFH; Mi2 ALPHA; Prp7; Prp9 1; ZFH;
遺伝子 ID	1107.0
SwissProt ID	Q12873
免疫原	ヒト CHD3 の合成ペプチド

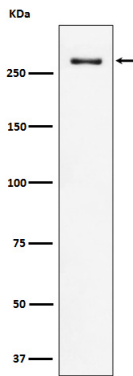
背景

ヒストン脱アセチル化酵素 NuRD 複合体の構成要素であり、ヒストンを脱アセチル化することでクロマチンのリモデリングに関与する。間期および有糸分裂の両方において、中心体ペリセントリンの固定、紡錘体の構成、および中心体の完全性に必要である。ヒストン脱アセチル化酵素 NuRD 複合体の構成要素であり、ヒストンを脱アセチル化することでクロマチンのリモデリングに関与する (PubMed:9804427, PubMed:30397230) 。NuRD 複合体の一部として転写抑制に関与する (PubMed:27068747) 。間期および有糸分裂の両方において、中心体ペリセントリンの固定、紡錘体の構成、および中心体の完全性に必要である (PubMed:17626165) 。

研究分野

免疫学

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の CHD3 発現のウェスタン ブロット分析。